

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かなこどもを育てる～



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第130号 R6.12.18

保幼小中一貫教育合同研修会（11月13日実施）開催

町内の保育所・幼稚園・こども園・小中学校教職員約90名が東能勢小学校の体育館に集まり、保幼小中一貫教育合同研修会が開催されました。本研修会の立案、運営は「けいかく部会」で行いました。

研修会の内容

① 異校種間・同校種間交流の取組みの様子

小学生と就学前幼児との交流や3小学校2年生の初谷川での川遊びなど今年度の数多くの取組みが紹介されました。次年度も継続しつつ、新たな取組みに挑戦していきたいと思えます。

（取組み内容：）

② 学校園所の「とよの未来科」「キャリア教育」の実践発表

○吉川保育所：『とよの わくわくみ～つけた』～アクション！わたしたちのSDGs～

○吉川中学校：「キャリア教育の取組み」

町内全体で今後の取組みについて考える良い機会となりました。

③ 全体交流会 テーマ：令和8年度に向けて豊能町のめざす子ども像を実現するために「とよの未来科」でできること

「とよの未来科」が昨年度から本格実施となり、各校とも取組みを昨年より活発に行っています。今回は、豊能町のめざす子ども像「豊能町に誇りをもち、自信をもって社会を生き抜く子ども」を実現するために「とよの未来科」でどのような取組みができるのかをより具体的に考え、保幼小中のつながりや子どもの姿、取組みの共有など協議しました。

参加教職員の感想

- ・今回、とても話しやすい雰囲気でした。テーマの設定も話しやすい理由の1つかもしれません。
- ・全体交流会が楽しかったです。タブレットを活用してのグループ発表は見やすくてありがたかったです。
- ・他の学校の先生と意見交流ができてよかったです。豊能町の課題についてたくさん話し合えました。
- ・とてもおもしろい意見・取組みが交流できたので、ぜひ町全体で実現していきたいです。



学校園所の取組み発表



グループごとの協議



タブレット端末で集約した意見を全体で共有

とよのを知ろう とよのを学ぼう ⑨ 「キャリア教育」の実践

職場体験学習の取組み（吉川中学校）

吉川中学校の2年生はキャリア学習の一環として、職場体験学習をおこなっています。今年も校区内を中心に38か所の事業所にご協力いただき、10月最後の3日間、80余名の生徒たちがお世話になりました。6月末ごろには生徒一人ひとりが実際に体験をさせていただき事業所を決定し、実際の体験に向けてさまざまな学習に取り組み始めました。

自己紹介文づくりでは、どのように書けば職場の皆さんに自分のことを理解してもらえるか、相手目線に立って上手く伝わるような文章になるよう考えました。また、仕事をする上で大切なことをグループで考える活動を通して、何か問題が生じたときにその原因を環境や他人といった外部に求めず、自らの内面や言動を変えていくことで解決・改善するという考え方にも触れました。自分の内側から問題を発見する意識を持つことで、社会の中で働く時にはどのような心構えであるべきかの議論も深まりました。

そして本番の3日間では、消防署ではしご車体験のように楽しい経験をするとともに、自分にとっての新たな課題に気付きました。たとえば幼稚園・保育所は想像以上に多くの知識や配慮が必要で先生という立場に立つことで初めて見えてくる様々な工夫や気配り・気苦労があること。飲食店や物販店ではお客様に対してはもちろん、一緒に働く仲間に対しても様々な配慮がなされていること。また病院では、患者として訪れるだけではうかがい知れない広大なバックヤードがあり、多種多様な仕事によって支えられていることなど。どこの職場で体験した生徒にとっても多くの発見があり、これから自分は何を学んでいけばよいのかを考えるきっかけにもなったと思います。

今回お世話になりました各事業所の皆さま、お忙しい中ご協力いただきありがとうございます。



新しい外国語指導助手 (Assistant Language Teacher: ALT) の紹介

新しいALTのSimon Ng (サイモン イング) さんが12月より東能勢小中学校に着任しました。以下は、サイモンさんの自己紹介文です。

皆さん、こんにちは。Simon Ng (サイモン イング) と申します。私は、生まれも育ちもカナダですが、僕の父親はイギリス領香港出身で、母親は中国出身です。

趣味は筋力トレーニングとテレビゲームです。誕生したばかりの子どももいるので教育と英語は僕にとって重要だと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

